Operation Guide 2996

CASIO

ライト点灯について

どのモードのときでも、Ⓛボタンを押すと、ライトが点灯します。
➡暗いところでも、表示を見ることができます。



▮ご注意▮
- ●直射日光下では、ライト点灯が見えにくくなります。
- ●ライト点灯中にⓁボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどの電子音が鳴ると、点灯を中断します。

■ライト点灯時間の切り替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約1秒間押します

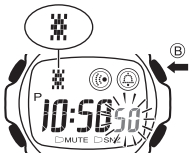
➡秒が点滅します。



2. 点灯時間を選ぶ

Ⓑボタンを押します

➡Ⓑボタンを押すごとに約1.5秒間と約３秒間が切り替わります。
※ ⁘ マーク＝約1.5秒間
※ ⁜ マーク＝約３秒間



3. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

操作音について

モード切替時などに鳴る操作音のON／OFFを切り替えることができます。

■操作音のON／OFF設定

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

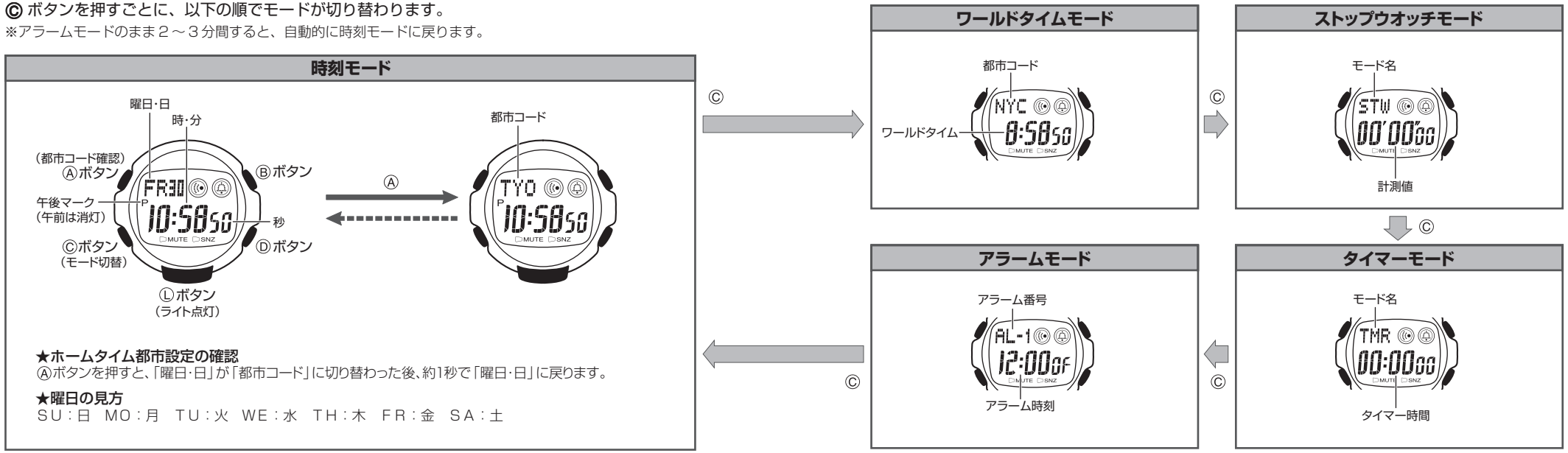
Ⓒボタンを約3秒間押します

➡確認音が鳴り、操作音のON／OFFが切り替わります。
※操作音をOFFにしているときは、MUTEマークが点灯します。
※操作音がOFFでも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。



操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
※アラームモードのまま２～３分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。



★ホームタイム都市設定の確認
Ⓐボタンを押すと、「曜日・日」が「都市コード」に切り替わった後、約1秒で「曜日・日」に戻ります。

★曜日の見方
SU：日　MO：月　TU：火　WE：水　TH：木　FR：金　SA：土

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界48都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※ホームタイム（基本時刻）を24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

ご注意
ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

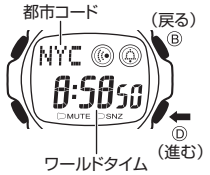
* 確認については「操作のしくみと表示の見方」参照、セットについては「時刻・カレンダーの合わせ方」参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します



➡サマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。
※ホームタイムで設定している都市をサマータイムONにしたときは、ホームタイム（基本時刻）もサマータイムONになります。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11	パゴパゴ	IST	+2	イスタンブール
HNL	−10	ホノルル	CAI	+2	カイロ
ANC	−9	アンカレジ	JRS	+2	エルサレム
YVR	−8	バンクーバー	MOW	+3	モスクワ
SFO	−8	サンフランシスコ	JED	+3	ジェッダ
LAX	−8	ロサンゼルス	THR	+3.5	テヘラン
DEN	−7	デンバー	DXB	+4	ドバイ
MEX	−6	メキシコシティ	KBL	+4.5	カブール
CHI	−6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
MIA	−5	マイアミ	MLE	+5	マーレ
NYC	−5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	−4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
YYT	−3.5	セントジョンズ	RGN	+6.5	ヤンゴン
RIO	−3	リオデジャネイロ	BKK	+7	バンコク
RAI	−1	プライア	SIN	+8	シンガポール
LIS	+0	リスボン	HKG	+8	香港
LON	+0	ロンドン	BJS	+8	北京
BCN	+1	バルセロナ	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
MIL	+1	ミラノ	ADL	+9.5	アデレード
ROM	+1	ローマ	GUM	+10	グアム
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
JNB	+2	ヨハネスブルグ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2005年6月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒸボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。

■タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します



➡「時」が点滅します。

2. セット箇所を選ぶ

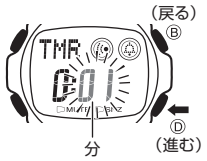
Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



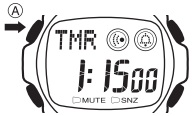
➡Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順*2.*～*3.*の操作を繰り返して、タイマー時間をセットします。

※タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を"0:00"にします。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します



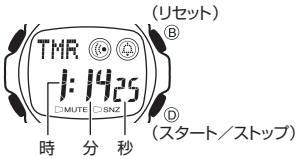
➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※計測は1秒単位で行ないます。



★計測ストップ後 Ⓑ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラームについて

●通常アラーム（AL1 ～ AL4）

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

●スヌーズアラーム（SNZ）

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。
なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

■ アラーム時刻のセット

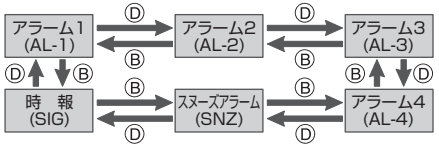
1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ ⒹまたはⒷボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。





2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します



➡「時」が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

4. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順 3.～4. の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

※ホームタイム（基本時刻）を 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラームのON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、アラームの ON ／ OFF が切り替わります。

※ アラームマークが点灯しているときが ON となり、アラームが鳴ります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

<アラーム1表示>



<スヌーズアラーム表示>



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※スヌーズアラームのときは、約 5 分後に再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。

※スヌーズアラーム機能中のときに以下の操作を行ないますと、スヌーズアラーム機能が中断されます。
- ●スヌーズアラームを OFF に切り替えたとき。
- ●スヌーズアラームをセット状態にしたとき。
- ●時刻モードでセット状態にしたとき。

■ モニターアラーム

アラームモードで Ⓓ ボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

■ 時報について

毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

■ 時報の ON ／ OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、時報表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、時報の ON ／ OFF が切り替わります。

※ 時報マークが点灯しているときが ON となり、時報が鳴ります。

<時報表示>



ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは 1/100 秒単位で 59 分 59 秒 99（60 分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測中に Ⓑ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（“SPL”表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後 Ⓑ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット

<積算計測>
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓑ スプリット → Ⓑ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット

<スプリット表示中>



●1・2着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓑ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓑ 2着タイム表示 → Ⓑ リセット

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約1秒間押します

➡「秒」が点滅します。



2. **時報に合わせてⒹボタンを押します**

➡「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。



3. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■「時刻・カレンダー」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約1秒間押します

➡「秒」が点滅します。



2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓒボタンを押します

➡都市コードが点滅します。

ⒹまたはⒷボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります（「都市コード一覧」参照）。

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。



例）
東京（日本）の時刻に合わせるときは、都市コードを“TYO”に設定します。

3. サマータイム（DST）のON／OFFを選ぶ

Ⓒボタンを押します

➡DSTマークとOnまたはOFが点滅します。



Ⓓボタンを押します

➡ON／OFFが切り替わります。

※ OF＝サマータイムOFF（通常時間）
On＝サマータイムON（夏時間）

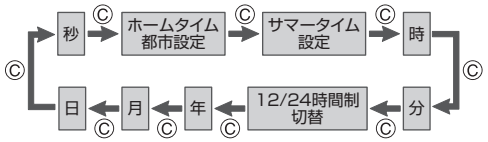
※ サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まり、時刻モードとアラームモードでDSTマークが点灯します（サマータイムについては「サマータイム（DST）について」参照）。

4. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒボタンを押します**

➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





b. **ⒹまたはⒷボタンを押します**

➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※12/24時間制切替は、Ⓓボタンを押すごとに12時間制表示（12H）と24時間制表示（24H）が切り替わります。

※「時」のセットのとき、午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

5. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。